

はじめに

本研究会では、平成18年度から22年度までの5年間、全市に配布している研究集録のほかに通称「黄色い冊子」（表紙が黄色なのでこう呼んでいます）を作成してきました。この「黄色い冊子」というのは、学級活動内容（2）「日常の生活や学習への適応及び健康安全」の実践をまとめたものです。当初は、常任委員の自己研鑽のためにという意味合いが強かったのですが、少しでも多くの先生方に提供し、授業に活かしてもらいたいとの思いから、平成23・24年度の2年間、検討し、整理しなおしました。そして、出来上がったのが、本冊子「学級活動（2）実践事例集」です。

さて、ご存じのこととは思いますが、学級活動には、《集団決定をし、決定事項を全員で実践する「（1）学級や学校の生活づくり」（子どもたちの自発的、自治的な活動）》と、《自己決定をし、個々のめあてに応じて実践する「（2）日常の生活や学習への適応及び健康安全」（教師の意図的、計画的な指導）》という2つの内容があります。それぞれの特徴を生かし、効果的に関連させながら指導していくことで「よりよい学級生活の実現をめざして、自分の希望や願いをもち、目標をもって生活する子ども」の育成を図ることができるわけです。しかし、指導方法が十分に浸透していないのも事実です。

私の苦い思い出を紹介します。

もう30年以上前の話です。私は4年生の担任でした。子どもから「忘れ物が多いので話し合いたい」との声が上がりました。学級の問題に気づいてくれたと嬉しくなった私は、さっそく学級会の議題にして話し合いました。

「連絡帳をちゃんと見れば忘れなと思います」

「連絡帳を見ないから忘れなと思います。目に見えるところに書けばいいと思います」

「手に書けばいいと思います」 「手だと洗ってしまうから消えてしまうと思います」

「顔に書けばいいと思います」

「顔に書いても洗うと消えてしまうから、消えない油性のマジックで…」

子どもたちの発言はどんどんエスカレートしていきます。私はあわてて止めました。

「みんなで決めなさいっていったくせに結局先生が決めるんだ…」

子どもたちの何とも言えない顔。教師不信？今でも忘れません。

このように子どもたちに任せ切れない問題を学級会（学級活動（1））の議題として取り上げて集団決定させてはいけないことを学んだのは特別活動研究会に入ってからでした。そうです。忘れ物に関する内容は、現在の学級活動（2）「日常の生活や学習への適応及び健康安全」で取り上げ、個々人が自己決定し、努力して解決していくべき問題だったのです。

本冊子には、共通事項ア～キまで、73題材の実践事例を載せてあります。指導の一助にさせていただき、週1時間の学級活動の充実を図っていただければ幸いです。

平成25年3月
川崎市立小学校特別活動研究会
会長 紺野 義輝

目次

はじめに	1
目次	2
実践事例集の活用法	3
学級活動（２）学年別指導計画一覧表	4

実践

（ア）希望や目標をもって生きる態度の形成	アー1～36
（イ）基本的な生活習慣の形成	イー1～26
（ウ）望ましい人間関係の形成	ウー1～20
（エ）清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解	エー1～16
（オ）学校図書館の利用	オー1～ 8
（カ）心身ともに健康で安全な生活態度の形成	カー1～24
（キ）食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	キー1～16

おわりに

作成者一覧

実践事例集の活用法

1. 作成の経過

本研究会では平成18年～22年の5年間、常任委員が取り組んだ学級活動活動内容(2)「日常生活や学習への適応及び健康安全」の実践を、年度末に「学級活動実践事例集」としてまとめてきた。今回、5年分の実践事例を整理し、年間指導計画に対応させた形で1冊にまとめることとした。平成23・24年の2年間、常任委員会や夏期研修会において、活動内容(2)の年間指導計画について検討を重ね、学習指導要領に準拠する実践をまとめたものが本事例集である。

2. 活用にあたって

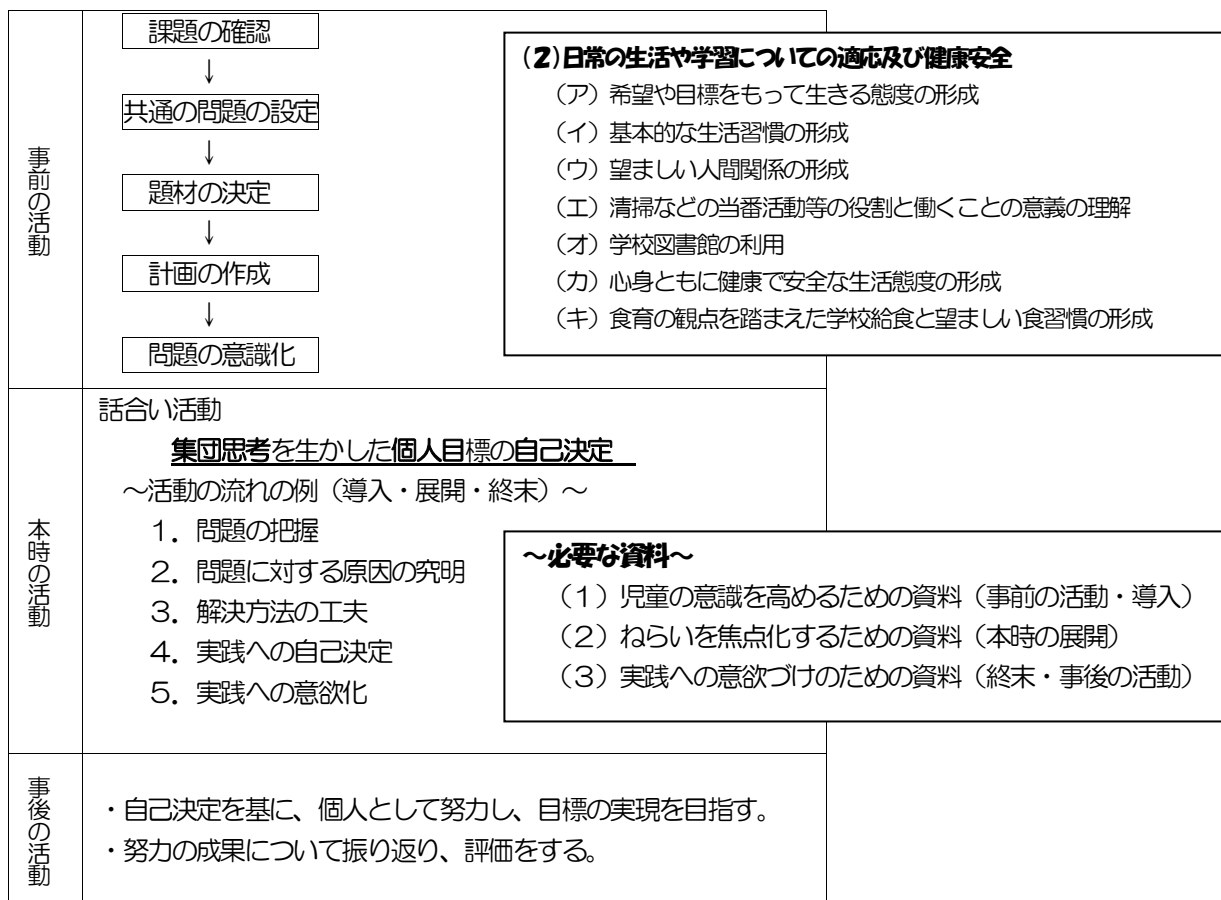
- ◆学級活動の授業時数は年間35時間(1年生は34時間)である。年間指導計画の時数及び題材については、学校や児童の実態に応じて柔軟に考えることが望ましい。しかし、教科書がない特別活動において、実践する際に参考となる資料が必要であると考えた。本事例集を一例として活用していただきたい。
- ◆年間指導計画の一覧表を題材別・学年別に作成し、実践する際の参考となるようにした。
- ◆1題材見開き2ページとし、左に展開例、右に資料を載せることを基本とした。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
活動内容(1)	19	22	23	23	24	25
活動内容(2)	15	13	12	12	11	10

3. 学級活動(2)の指導方法

日常生活や学習への適応及び健康や安全に関するもので、児童に共通した問題であるが、個々に応じて実践されるものである。

～(2)「日常生活や学習についての適応及び健康安全」における一連の活動過程～



平成25年度 川崎市立小学校特別活動研究会 学級活動(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全 学年別指導計画一覧表

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4	●1年生になって(ア) ●学校のきまり(イ) ●さあ、給食がはじまるよ(キ)	●2年生になって(ア)	●3年生になって(ア)	●4年生になって(ア) ●特別教室掃除の達人になろう(エ)	●5年生になって(ア) ●委員会活動への参加(エ)	●6年生になって(ア) ●当番活動を見直そう(オ)
5	●ともだちとなかよく(ウ) ●教室をきれいに(エ) ●本となかよしになろう(オ)	●ふわふわ言葉とちくちく言葉(ウ) ●登下校の安全(カ)	●友だちづくり(ウ) ●図書室たんけん隊!!(オ)	●気持ちのよい言葉(ウ) ●町で安全にすごそう(カ)	●みんなの協力(ウ)	
6	●はえてくる歯を大切に(カ) ●学校の行き帰り(カ)	●雨の日の過ごし方(イカ) ●教室をきれいに(エ)	●おやつでむし歯にならないぞ(カ) ●雨の日の過ごし方(イカ)	●雨の日の過ごし方(イカ)	●雨の日の過ごし方(イオカ)	●雨の日の過ごし方(イオカ)
7	●夏休みの過ごし方(アイ) ●たいせつなからだ(カ)	●夏休みの過ごし方(アイ)	●夏休みの過ごし方(アイ) ●牛乳で、元気いっぱい(キ)	●夏休みの過ごし方(アイ)	●夏休みの過ごし方(アイ) ●インターネットを使うとき(カ)	●夏休みの過ごし方(アイ) ●すいみんと健康(カ)
8						
9	●みんなにここにあいさつ大作戦(イ)	●いろいろな本を読もう(オ) ●いろいろ食べようパート2(キ)	●3年O組、きょうカおそうじ大作戦(エ)			
10	●後期をむかえて(ア)	●後期をむかえて(ア)	●後期をむかえて(ア)	●後期をむかえて(ア) ●こちら図書室前Books探偵所(オ)	●後期をむかえて(ア) ●よりよい自然教室にしよう(アウ)	●後期をむかえて(ア) ●よりよい修学旅行(アウ)
11	●いろいろ食べようパート1(キ)	●友だちとなかよく(ウ) ●体によい飲み方を知ろう(キ)	●言っていること、わるいこと(ウ)	●仲のよい学級(ウ) ●かむことの大切さを知ろう(キ)	●清掃活動を見直そう!(エ) ●体のためにバランスよく食べよう(キ)	●自分で朝ごはん(キ)
12	●手洗い・うがいをしよう(カ)	●せきエチケット(カ)	●インフルエンザを予防しよう(カ)	●目を守ろう(カ)		
1						●お世話になった学校へ(エ)
2	●もうすぐ2年生(ア)	●もうすぐ3年生(ア)	●もうすぐ4年生(ア)	●もうすぐ5年生(ア)	●もうすぐ6年生(ア)	●もうすぐ中学生(ア)
3						
時数	15	13	12	12	11	10